

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	49,279千円	45,320千円	51,195千円	0千円
	総人件費	23,355千円	23,358千円	23,437千円	
	総事業コスト	72,634千円	68,678千円	74,632千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	国際交流室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	19	国際化の推進に要する経費

事務事業名	01	多文化共生推進事業			指標名	事業の実施数				指標種別	成果指標	指標の概要	市及び(一財)つくば市国際交流協会が行う多文化共生事業の実施数(市内国際交流活動のみ)					
戦略プラン	4	3	国際化の推進		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度				
総合戦略	1	6	国際化の推進		実績	15事業	17事業	26事業					その他の指標	-				
個別計画	つくば市グローバル化基本指針及びつくば市科学技術振興指針				改善目標	H28年度				H29年度								
根拠法令等	一般財団法人つくば市国際交流協会補助金交付要綱				事業計画	(一財)つくば市国際交流協会ほか関係団体との連携事業 ・国際交流フェアの開催 ・つくばワールドフットサル2016の開催 ・外国人のための相談室事業 ・外国人スピーチコンテストの開催				(一財)つくば市国際交流協会ほか関係団体との連携事業 ・国際交流フェアの開催 ・つくばワールドフットサル2017の開催 ・外国人のための相談室事業 ・医療通訳ボランティア育成・派遣				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業分類	E 補助金・負担金事業				活動実績	(一財)つくば市国際交流協会に補助金を交付し、協会活動の側面支援を行った。 ・国際交流フェア:外国料理等テント出店が26団体 ・ダンス等のステージ発表が11団体 ・つくばワールドフットサル2016:実行委員会を9回開催				上半期活動実績				事業費(A)	35,280千円	33,438千円	35,061千円	0千円
執行体制	補助金(直接)				成果	つくばワールドフットサル2016参加者数443人(うち外国人21ヶ国86人)は過去最高平成27年度:参加者数431人(うち外国人28ヶ国84人)				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	(一財)つくば市国際交流協会が実施する各種事業を補助するとともに関係団体と連携し、外国人市民の生活支援や外国人と日本人の交流機会の拡大を図るため。				課題	補助金に頼らない協会の自主運営が理想だが、収入源の賛助会員が伸び悩み、その実現が難しい。 ・つくばワールドフットサルの参加者は日本人及び外国人ともが増えていますが、外国人参加率が向上しない。				課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	協会単独事業 ・外国人住民が日本語を話したり、日本文化に触れることができるイベント ・医療通訳ボランティアのスキルアップ研修 市その他関係団体との連携事業 ・国籍を越えた市民交流を推進するためのイベント等				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
	H29環境関連性	-	-	-		効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-	一般財源	35,280千円	33,438千円	35,061千円	0千円	
						総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-	人件費(B)	6,211千円	6,444千円	6,391千円		
												正職員	従事割合	0.80人	0.80人	0.80人		
												時間外勤務	100.00時間	220.00時間	200.00時間			
												臨時職員等	無	無	無			
												事業コスト(A+B)	41,491千円	39,882千円	41,452千円			
												H30年度当初積算根拠	-					
												H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	49,279千円	45,320千円	51,195千円	0千円
	総人件費	23,355千円	23,358千円	23,437千円	
	総事業コスト	72,634千円	68,678千円	74,632千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	国際交流室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	19	国際化の推進に要する経費

事務事業名	02	国際交流員・留学生交流員事業			指標名	通訳対応件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	庁内における通訳業務対応件数(国際交流員のみ)			
戦略プラン	4	3	国際化の推進		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
総合戦略	1	6	国際化の推進		実績	349件	470件	434件											
個別計画	つくば市グローバル化基本指針及びつくば市科学技術振興指針				改善目標	H28年度 窓口担当者との会議を開催する等、外国人に対する共通理解を図る。				H29年度 引き続き、窓口担当者と連携を密にし、外国人に対する共通理解を図る。				その他の指標	-				
根拠法令等	つくば市嘱託員設置規則				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 来庁した外国人の通訳及び案内 市が発信する文書や冊子等の翻訳 多言語版ホームページの運用 市が携わる国際交流事業に係る調整及び通訳・翻訳 留学生交流員を委嘱し、6か国語の外国語広報紙を発行 国際理解講座の実施 				<ul style="list-style-type: none"> 来庁した外国人の通訳及び案内 市が発信する文書や冊子等の翻訳 多言語版ホームページの運用 市が携わる国際交流事業に係る調整及び通訳・翻訳 留学生交流員を委嘱し、6か国語の外国語広報紙を発行 国際理解講座の実施 									
事業分類	A 任意的事業				活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 窓口における通訳や市が発信する情報の翻訳を行った。 多言語版ホームページを適宜更新した。 6言語の外国語広報紙を偶数月20日に発行した。 市内小学校で国際理解講座を開催した。 翻訳業務について市民課と協議を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> 上半期活動実績 				内訳	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
執行体制	職員のみ				成果	<ul style="list-style-type: none"> 窓口における通訳対応件数(英語434件)、市が発信する情報の翻訳件数(英語72件、中国語15件、韓国語2件) 外国語広報紙の発行部数：年間16,179部 国際理解講座実施数：29回 				<ul style="list-style-type: none"> 上半期成果 					事業費(A)	6,165千円	6,023千円	7,366千円	0千円
事業の目的	外国人が生活する上で、言語や社会制度の違いから生じる不便・不安を軽減するとともに、日本人市民の国際理解を深め国際社会適応力の育成を図るため。				課題	日本と外国の制度の相違により窓口トラブルになる場合があるため、窓口担当者の国際力を高める必要がある。				課題				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 来庁した外国人の通訳及び案内を行う。 市が発信する文書や冊子等の翻訳を行う。 市が携わる国際交流事業に係る調整及び通訳・翻訳を行う。 留学生交流員を委嘱し、6か国語の外国語広報紙を発行する。 青少年の国際感覚の醸成のため国際理解講座を実施する 				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
	H29環境関連性	-	-	-	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-	一般財源	6,165千円	6,023千円	7,366千円	0千円			
												人件費(B)	7,428千円	7,724千円	6,259千円				
												正職員	従事割合	1.00人	1.00人	0.80人			
												時間外勤務	0.00時間	150.00時間	150.00時間				
												臨時職員等	有	有	有				
												事業コスト(A+B)	13,593千円	13,747千円	13,625千円				
												H30年度当初積算根拠	-	-	-	-			
												H30年度の方向性	-	理由	-	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	49,279千円	45,320千円	51,195千円	0千円
	総人件費	23,355千円	23,358千円	23,437千円	
	総事業コスト	72,634千円	68,678千円	74,632千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	国際交流室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	19	国際化の推進に要する経費

事務事業名	03 国際化教育支援事業			指標名	補助対象学校の児童・生徒数				指標種別	成果指標	指標の概要	補助対象となっている学校の児童・生徒総数(各年度8月1日)			
	戦略プラン	4	3	国際化の推進	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度	
総合戦略	1	6	国際化の推進	実績	129人	130人	150人	160人							
個別計画	つくば市グローバル化基本指針及びつくば市科学技術振興指針			改善目標	H28年度				H29年度						
	国際バカロレアに対する支援の在り方を再検討する。				引き続き、国際バカロレアに対する支援の在り方を再検討する。										
根拠法令等	つくば市国際化教育事業補助金交付要項			事業計画	国際バカロレア又はこれに準ずる国際基準の認定を受けた学校の当該教育プログラムに係る経費に対し、補助金を交付する。				国際バカロレア又はこれに準ずる国際基準の認定を受けた学校の当該教育プログラムに係る経費に対し、補助金を交付する。						
	事業分類	E 補助金・負担金事業			活動実績	つくばインターナショナルスクールの国際バカロレア教育課程に要する経費に対して補助金を交付した。				上半期活動実績					
事業の概要	国際基準の認定を受けている市内の各種学校を支援することで、市の国際化教育の環境の充実に資するとともに、外国の優秀な研究者の招致を容易にするため。			成果		生徒数の増加(153人 160人)に少なからず寄与した。				上半期成果					
	国際バカロレア又はこれに準ずる国際基準の認定を受けた学校の当該教育プログラムに係る経費に対し、補助金を支出する。				課題				課題						
ISO 14001	H28環境関連性	-		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況		-		
	H29環境関連性	-			有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-		-		-		
				評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-		-				
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		-				
											事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
											事業費(A)	4,000千円	4,000千円	4,000千円	0千円
											国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
											県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
											地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
											その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
											一般財源	4,000千円	4,000千円	4,000千円	0千円
											人件費(B)	1,486千円	1,466千円	733千円	
											正職員	0.20人	0.20人	0.10人	
											従事割合	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
											時間外勤務				
											臨時職員等	無	無	無	
											事業コスト(A+B)	5,486千円	5,466千円	4,733千円	
											H30年度当初積算根拠				
											H30年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	49,279千円	45,320千円	51,195千円	0千円
	総人件費	23,355千円	23,358千円	23,437千円	
	総事業コスト	72,634千円	68,678千円	74,632千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	国際交流室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	19	国際化の推進に要する経費

事務事業名		04 姉妹・友好都市交流事業		指標名	姉妹都市・友好都市交流事業の参加者数				指標種別	成果指標		指標の概要	姉妹都市・友好都市交流事業に係るつくば市側の参加者数					
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
総合戦略		- - - -		実績	53人	16人	68人					その他の指標	-					
個別計画		つくば市グローバル化基本指針及びつくば市科学技術振興指針		改善目標	H28年度 ・米国、仏国の姉妹都市との新たな市民交流を見出す。				H29年度 ・米国、仏国の姉妹都市との新たな交流を見出す。									
根拠法令等		-		事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・米国アーバイン市及びミルピタス市とのE-mail事業に加え、ITを活用した新たな交流の実施。 ・ミルピタス市については、交流20周年記念事業を開催。 ・仏国グルノーブル市、ダイバーシティへの市民派遣。 ・中国深圳市との総体的な交流の継続(訪問団受入れ、市議会相互の覚書締結、大学生夏キャンプ、中国ハイテクフェアへの出展等) ・韓国テジョン市との交流再開 				<ul style="list-style-type: none"> ・中国深圳市との総体的な交流の継続(訪問団受入れ、市議会相互の覚書締結、市内大学生の留学生交流、中国ハイテクフェアへの出展) ・韓国テジョン市との青少年交流 				内訳	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業分類		A 任意的事業		活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ミルピタス市と交流20周年を記念して、高校生による姉妹都市かるたを制作 ・グルノーブル市の短編映画祭で「つくっぺ」グランプリ受賞作品を上映。ダイバーシティでは市民が和太鼓演奏を披露。(7/7-7/11) ・深セン市とは、夏キャンプへの市民派遣(1名)、深セン市職員の受入れ(1名:2ヶ月)、中国ハイテクフェアに市内企業出展、中国からの訪問団対応(4/14-4/15)、市長市議会表敬訪問(3/20-3/22) ・大田広域市へ青少年訪問交流(12/26-12/29) 				<ul style="list-style-type: none"> ・中国深圳市との総体的な交流の継続(訪問団受入れ、市議会相互の覚書締結、市内大学生の留学生交流、中国ハイテクフェアへの出展) ・韓国テジョン市との青少年交流 					事業費(A)	3,834千円	1,859千円	2,160千円	0千円
執行体制		職員のみ		成果	<ul style="list-style-type: none"> 交流事業の参加者数 ・ミルピタス市: 姉妹都市かるた(13人) ・グルノーブル市: 短編映画祭・ダイバーシティ(9人) ・深セン市夏キャンプ(1名)、職員受入(1名)、中国ハイテクフェア市内企業(1名)、深セン訪問団来市(18人)、市長市議会表敬訪問(10名) ・大田広域市: 青少年交流 中学生(15人) 				<ul style="list-style-type: none"> ・中国深圳市との総体的な交流の継続(訪問団受入れ、市議会相互の覚書締結、市内大学生の留学生交流、中国ハイテクフェアへの出展) ・韓国テジョン市との青少年交流 				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的		教育や文化、経済交流など、姉妹・友好都市を含む海外都市との交流を推進することで、つくば市の特性をいかした事業展開を図るため。		課題	都市によって交流の濃淡があり、ケンブリッジ市とは交流が希薄になっている。				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要		-		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001		H28環境関連性	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
		H29環境関連性	-	評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-			一般財源	3,834千円	1,859千円	2,160千円	0千円	
				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			人件費(B)	8,230千円	7,724千円	6,126千円			
												正職員	従事割合	1.00人	1.00人	0.80人		
												時間外勤務	300.00時間	150.00時間	100.00時間			
												臨時職員等	無	無	無			
												事業コスト(A+B)	12,064千円	9,583千円	8,286千円			
												H30年度当初積算根拠	-					
												H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	49,279千円	45,320千円	51,195千円	0千円
	総人件費	23,355千円	23,358千円	23,437千円	
	総事業コスト	72,634千円	68,678千円	74,632千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	国際交流室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	19	国際化の推進に要する経費

事務事業名	05 第58回外国人による日本語弁論大会	指標名	弁論大会の観客数				指標種別	成果指標	指標の概要	弁論大会の観客数 ノバホール座席数の約7割 (1階席679席-未使用席92席) × 0.7					
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
	-		-	-	-	400人	-	-	-						
総合戦略	-	実績	-	-	-										
	-														
個別計画	つくば市グローバル化基本指針	改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標				
							目標達成のため、早く広く周知し、観客数増加を目指す。								
根拠法令等	-	事業計画	・(一財)国際教育振興会やノバホール等の関係機関と調整 ・平成29年度予算算定				・市内高校生への参加呼びかけ ・関係機関と調整 ・広報紙、ホームページ等で広報				事業実施コスト				
事業分類	A 任意的事業	活動実績	宮内庁、振興会、ノバホール、ホテルオークラ、JR土浦駅と協議を実施。				上半期活動実績				H27年度決算				
執行体制	-	成果	・高円宮妃の御成り行程案が完成。 ・当初予算2,608千円を計上。				上半期成果				H28年度決算				
事業の目的	急速にグローバル化が進む現在、国籍や文化の違いについて意見交換を行いながら、相互理解を深めることが大切である。日本の社会や文化に日頃から深く接している世界各国の人々に、日本語でスピーチをする機会を提供することは、聞く人や発表者本人に対して新たな視点を与えてくれる好機となるため。	課題	大会前日から当日にかけて、他部署の応援が必要				課題				H29年度当初				
事業の概要	平成29年6月17日、ノバホールで開催決定。主催：(一財)国際教育振興会、国際交流基金(ジャパンファウンデーション)、つくば市 後援：外務省、文化庁、NHKほか	事業の進捗状況	-				-				H30年度当初				
		改善目標の進捗状況	-				-				H31年度当初				
ISO 14001	H28環境関連性	有効性	-				-				H32年度当初				
	H29環境関連性	効率性	-				-				H30年度当初積算根拠				
		総合評価	-				-				H30年度当初積算根拠				
											H30年度の方向性				
											理由				